

終わりました。満足というか何というか複雑な気持ちです。

一番人気があった曲は、藤城公久君がひいた、STAR SHIPの光を求めてでした。来年は、もつとすごい曲をひいてみんなをあつといわせたいと思います。



6年 川島 恭子

### 委員会を決める日

「おはよう。」

元気がないあいさつをした。

母が、朝食の準備をしながら

「頭いたくないの？」心配そうに問いかけた。私は昨夜、頭痛をおこしていたのだ。

「うん、もうだいたいよぶ、今日、委員会を決める日だから休むことは出来ないの。」

はりきって家を出た。

気持ちはまだ重かった。

委員会を決める一時間目になった。

私の第一希望は保健委員会だ。「保健委員会！」私は急いで手を上げた。周りを見回すと私ともう一人いた。

「このまま決まってしまう方がいいな。」

そんな考えが頭をよぎった。

あと一人足りない

他の委員会に入れなかった一人の友達が

「保健委員会に入ります。」と言った。

私は少しおどろいた。

保健委員会は決定した。

入ることが出来たのでうれしかった。

必ず入るんだ。と思っていた。

願いがかなったのだ。やっと入れた委員会。がんばりたいと思う。



6年 伊藤千代子

### シリーズ ⑭

## 我が家の家庭教育

### 躰

橋場 椎名 重基

私が小学生だった頃。親（父親）は偉大な存在であり恐くもあつた。私は封建的な家族制度の中で育ち、家の中で一番偉い人は家長の父親であると教えられてきた。

男は外で働き女は家を守る、封建的な考えは肯定も否定もありませんが、夫婦共稼ぎの家

庭が増え核家族化している現在、昔からの一つ屋根の下に何世代もの夫婦と一緒に住む家族制度は、家族教育という面から見れば見直すべき事ではないでしょうか。

躰という点からも女が家を守ることは大切なことだと思う。子供達は家庭生活の中で、親の姿を見て目上の人に対する話し方や、年寄りに対する思いやり、譲り合いの精神等を世代の違う家族と一緒に暮らすことにより、自然と身につくはずである。

今は物が豊富で子供達は何でも買ってもらえる時代である。我慢が足りない理由も、うなずける。

## 冬が過ぎて

寒い冬も終わり、あたたかい春がおとずれた。

ふきのとうやつくしが、ひよっこりと顔を出した。

さくらやスズランもきれいに、花をひらいた。

私は、そんな春が好きだ。来年も

たくさんのおい春を、見せてほしい。

### 俳句・短歌会

春来ればひそかに炎ゆる焔あり  
老いの生命の妄執なるや

山崎平八郎

伊藤 定男

寂かなる闇を刻める秒針の  
余命削らるる音に聞こゆる

私が中学生の頃、皮製の手袋が流行して父親にねだった事がある。担任の先生に相談したらしく後日、職員室に呼ばれ先生が手の甲をつまみ一言「お前こんないい皮の手袋をしてんじやねえか。それ以後、手袋は一切かけなかったという思い出がある。いまだに皮の手袋は持っていない。

我が家の家庭教育シリーズを拝見していると、申し合わせたように「親」と言う言葉が書かれています。非行の低年齢化が叫ばれている昨今、まだ親の威厳が保っている我が家では、二人の娘を持つ親として躰は厳しくやっています。

幼な孫補助つき自転車乗りこなし  
歌うたひつつ吾を追い越す  
鈴木甲子幸

嫁病みて老いの出番と早起きし  
厨に立てば水冷たかり  
岩沢 芳江

越川 雪枝

石灰は夜業に撒布昼鍬きて  
田畑守りしは夢にひとしき  
伊藤 鏡子

春の陽のふかく差し込む部屋ぬちに  
頁をめくの音のかそけく  
竹内 紀葉

存分に土を掴みて雑草の冬を越したる  
根張り逞し  
土屋 好

山合いの畑打ちおれば何処よりか  
梅の花びら鍬に舞いくる



家族が一緒に暮らすことは、幸せなことなんだよ。  
喜びも、苦しみも分け合うことができるし……